

なぜ小国ベトナムが大国アメリカに勝利できたのか？その足跡をたどり、その謎に迫る

旅行代金 2017年11月28日 発 226,000 円

一人部屋追加料金 39,000 円

定員 25名（最低実施人員15名） 添乗員同行 申込み締切 2017年10月27日(月)

日次	月日	曜	都 市	現 地 時 刻	交通機関	摘 要	〈宿泊地〉	食事	
①	11月28日	火	成田・関空発 ハノイ着	午前	航空便	空路、ベトナムの首都ハノイへ 着後、専用車でホテルへ 夕刻：鈴木勝比古さんの講演	〈ハノイ泊〉	B-X L-機 D-RL	
②	11月29日	水	ハノイ	終日	専用車	ハノイ市内見学 植民地からの独立の軌跡をたどる ◎旧オペラ座 ◎ホーチミン廟 ◎一柱寺 ◎パティン広場 ●B52博物館 枯葉剤被害者の子どもたちがいるハノイ国際友好村で交流 OP：水上人形劇鑑賞	〈ハノイ泊〉	B-H L-RL D-RL	
③	11月30日	木	ハノイ発 ホイアン着	早朝	航空便 専用車	空路、中部最大の都市ダナンへ 陸路、世界遺産に指定された中世の古い町並みが残る ホイアンへ 着後、『海のホーチミンルート』著者 グエン=ゴックさんと懇談	〈ホイアン泊〉	B-H L-RL D-RL	
④	12月1日	金	ホイアン	終日	専用車	【世界遺産】ホイアン旧市街見学 御朱印船時代(16~7世紀)の日本人町が残る 旧市街を見学 ●中華会館 ◎来遠橋 ◎日本人墓地 など 自由行動 夜はランタン夜祭りを見学	〈ホイアン泊〉	B-H L-RL D-RL	
⑤	12月2日	土	ホイアン発 ホーチミン市着	午前	航空便 専用車	陸路、ダナン空港へ移動 空路、経済の中心地ホーチミン市へ 着後、ホーチミン市内見学 ●戦争証跡博物館 ◎統一会堂 ◎フランス様式の郵便局	〈ホーチミン市泊〉	B-H L-RL D-RL	
⑥	12月3日	日	ホーチミン市 フォックハイ	終日		「海のホーチミンルート」の秘密の船着き場があった フォックハイへ 元船長レー・ハーさんと懇談 *ご希望により:「鉄の三角地帯」クチ見学も可能(フォックハイへは行けず別行動)		B-H L-X	
			ホーチミン市発	夜中	航空便	夕食は打ち上げ交流会 その後、空港へ	〈機中泊〉	D-RL	
⑦	12月4日	月	成田・関空着	午前		空路、帰国の途へ 帰国(空港到着:午前7:00~8:00頃予定)		B-機 L-X D-X	
			B=朝食付、L=昼食付、D=夕食付、機=機内食、OP=オプション・ツアー(希望者参加の小旅行、別途料金) ●=入場、◎=下車観光、○=車窓						

ツアーの特色

- ◇『海のホーチミンルート』著者グエン=ゴックさんや秘密の輸送船の元船長レー・ハーさんと懇談！
- ◇ベトナム独立宣言のバーディン広場、ハノイ国際友好村、ホーチミン市戦争証跡博物館
元コンダオ女性政治囚と歌の交流
- ◇中世の日本人町ホイアンを散策し、満月の夜開催の幻想的なランタン祭りを見学

利用航空会社

ベトナム航空 など

利用ホテル

都市名	ホテル名
ハノイ	ランビエン
ホイアン	ビーチリゾート
ホーチミン	マジェスティック
	または同等クラスのホテル

旅行代金に含まれるもの

国際航空料金（エコノミークラス）
 旅程表に明示したバス・列車・船等の料金・宿泊料金・食事料金
 航空機による手荷物運搬料金
 旅程表に明示した見学地のガイド料、入場料、チップ

旅行代金に含まれないもの

超過手荷物料金
 クリーニング代、電報・電話代、心づけ、追加飲食等の個人的性質の諸費用
 出発空港施設使用料、保安料 成田：2,610円 関西：3,040円
 お一人部屋追加料金 39,000円
 国内における集合・解散地までの交通費・宿泊費
 燃油サーチャージ・空港税 約6,000円 (2017年10月現在)

渡航手続費用: 旅券印紙代
 傷害、疾病等に関する医療費、任意の海外旅行保険料



講師紹介: 鈴木 勝比古
 (すずき かつひこ)
 【プロフィール】1970年代に特派員としてベトナム戦争の激化するハノイへ駐在。以後、東欧・アジアなど世界各地をまわり激動の時代を報道し続ける(最近では2005年～2007年にもベトナムに滞在)。グエン・ゴックさんの大作『海のホーチミンルート』を和訳しこの度日本語版を刊行しました。
 ⇒
 本のお求め・お問合せは弊社(山崎・堀米)まで



『海のホーチミンルート』
 (日本語版)



ホーチミン廟(ハノイ)



戦争証跡博物館 (ホーチミン市)



かつて秘密の船着き場があった
 フォックハイの海岸